



クリニカルクエスチョンに基づく薬剤師からの エビデンスの発信

～がん化学療法、支持療法、そして緩和ケア～

講師

神林 祐子 先生

大阪医科薬科大学 薬学部

臨床薬学教育研究センター 教授（特任）



日時

2022年 **2** 月 **4** 日（金） 13:00 - 14:30

開催方法

岐阜薬科大学（zoomによるオンライン開催）

岐阜薬科大学卒業後、大学病院に薬剤師として勤務し、その後半の約20年間は患者のベッドサイドにほぼ毎日赴き、医師・看護師とカンファレンスも行い臨床業務に携わってきた。緩和ケアチームの薬剤師としての活動、がん専門薬剤師として外来化学療法センターでの薬剤管理指導も実践してきた。10年前Memorial Sloan Kettering Cancer Centerでのがん専門薬剤師研修（小林がん学術振興会助成）への参加を通して、現場で感じた臨床疑問をもとに臨床研究も行い、薬剤師からの臨床におけるエビデンスの発信の必要性を強く感じるようになった。子育ても一段落したところで、社会人として大阪大学大学院薬学研究科に入学し、臨床データをもとに臨床薬学研究を行い博士の学位を取得した。薬剤師の視点から臨床で遭遇した問題点や疑問点を臨床研究につなげ論文化し臨床にフィードバックすることは、医療の質の向上そして最終目標とする患者利益への貢献につながる。現在は、実務家教員として薬学部で臨床薬学教育に携わるとともに、大学病院の化学療法部にも在籍し臨床研究も継続している。講演では、研究紹介を通して、臨床研究の面白さ、臨床薬剤師が素晴らしい職業であることを伝えたいと思う。

申込方法

お名前、所属、メールアドレスを明記し、メールでお申し込みください diversity@gifu-pu.ac.jp 【締切：1月31日（月）】

本講演会は大阪大学「高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンスト教育研究プログラムの共同開発」事業の一環としても実施します。



岐阜薬科大学



岐阜女子大学



API株式会社

お問い合わせ



岐阜薬科大学

ダイバーシティ推進室

〒501-1196 岐阜市大学西1-25-4

Tel: 058-230-8100

e-mail: diversity@gifu-pu.ac.jp